

葦 森 の 風

2学期を振り返って

今年の2学期は、足守中学校にとって大きな変革の時期になりました。大井校舎に移転し、新しい環境で生活をする中でさまざまな戸惑いも多くあったと思います。しかし、3年生を中心に生徒の皆さんは、盛り上げていこうとして、元気よく頑張ってくれたと感じています。先生たちにも勇気を与えてくれたと思います。文化祭や体験学習、とりわけ3年生の地域学習は保護者や地域の方々に、足守中学校の生徒の素晴らしい力を見ていただく、良い機会だったと思います。この半年の間には、とても悲しい現実もありましたが、私たちは生かされているという感謝の心をあらためて教えていただいたように思います。来年もいっそう笑顔で、勇気を持って前進し、ひとりひとりが大きく成長していく「辰年」にしていきたいと思います。



3年生のみなさんへ

3年生は進路実現に向けて、大詰め個人懇談会を終え、いよいよ各自の目指す進路に向けて、学習に力を振り注いでいる時期に入ったと思います。くれぐれも健康管理には留意し、「やり切った」という充実感が持てるように、計画的に年末年始を闘い抜いて欲しいと願います。以前にも話をしましたが、サッカー日本代表メンバーの本田圭佑選手は、「しっかりと準備をして、次の試合に臨みたい。」とインタビューに答えている姿をよく見かけます。「本番に望むまでの準備こそが、価値あるものだ」と教えてくれているように感じます。今年の年末年始は、今までにない取組をぜひ計画し、実行して欲しいと思います。来る入試の本番の時に、この年末年始のとびきりの頑張りこそが、大きな自信となって勇気と幸運を与えてくれると思います。 **ガンバレ3年生諸君!!**

2学期後半の行事



2年生「職場体験学習」
ミスタードーナツ



1年生「福祉体験学習」
足守荘



「善行少年表彰式」
西警察署 ボランティア



「税の作文表彰式」
税務署長 片島万裕子さん



3年生「地域学習」
発表資料の展示
足守公民館



「学校保健委員会」
保健委員の報告



「給食試食会」
保護者の方と卒業生



「携帯電話の使い方」
IPU環太平洋大学
筒井愛知先生の講演

足守中学校運営協議会委員さんから一言

【運営委員 水田真吾さん】

小春日和の穏やかなお天気かと思えば、一転して冷え込む時もあり、朝夕の寒気が身に凍みます。確実に秋から冬の装いになってきました。こうした変化も、日本はそれだけ四季の変化を十分に感じれる程に恵まれているということだと思います。現代はものが豊かになり技術の進歩によって、夏は冷房、冬は、暖房と快適便利な生活が送れていて、それはそれで有難いことですが、今の私たちは、折角の恵まれている四季の変化に、段々気付かなくなっているように思えてなりません。

今年、ブータン国王夫妻が来日されました。経済的に豊かな国ではありませんが、前国王が「国民総幸福度」という考え方を提唱し、経済的豊かさではなく、精神的豊かさという価値観を唱え注目を集めました。利他心、慈悲心に篤く、97%の人が幸せと感じており、幸福度世界8位だそうです。ちなみに、経済豊かな日本は、幸福度125位だそうです。豊かさも時間が経てば、感動も喜びも薄れて当たり前になってしまいます。

四季に恵まれ、ものにも恵まれているこの日本で、本当の幸福とは何かを考えてみる必要があるのではないのでしょうか。それは人と人とのつながり(絆)から生まれてくるものかもしれません。自己主義でなく、利他主義つまり人に尽くし喜び心、仲間の悲しみや、痛み、喜びのわかる人になること。そしてもう一つ、もの(命や物質)の有難さをわかり大切に人が増えたなら、価値観も代わり幸福度も上がってくるのではないのでしょうか。一度家族で話し合ってみてはいかがでしょうか。

